ワリンワリン・ダバオＲＣ訪問　　　　　国際奉仕委員長　三橋一夫

　　　　１/２３（金）～１/２６（月）の日程で習志野ＲＣメンバー総勢１１名にて２０年来の親交を持つフィリピンのワリンワリン・ダバオＲＣを訪問して参りました。今回の訪問は２０１３年１１月に当クラブ５０周年式典開催の折に、ワリンワリン・ダバオＲＣより１４名のロータリアンが来日し祝福していただいた返礼と、両クラブの親睦と友好関係を深めることと、これまで支援してきたプロジェクトの状況を視察して今後の国際奉仕活動の検討材料とすることが主な目的でした。

ティブンコ地区のデイケアセンター（働く親達のための託児所的施設）とダバオメディカルセンター内のハウスオブホープの２ケ所を視察して参りました。デイケアセンターでは休日にもかかわらず６０名ものこども達が出迎えてくれ、かわいいダンスで歓迎してもらいました。普段は８０名ものこども達が集い勉強しているとのことです。

　　　　ハウスオブホープでは小児ガンの治療に向き合うこどもと親たちが　　　出迎えてくれました。この施設は住まいが遠方で病院に通いにくい親子たちを無償で宿泊させ治療を受けられるよう援助する施設です。これまでの７年間で約５０００人を受け入れ、子供たちの治癒率は飛躍的に改善されたそうです。

視察後、ワリンワリン・ダバオＲＣの２３周年記念例会に一同で参加し、椎名会長より支援金並びに当クラブの５０周年記念誌を手渡してまいりました。翌日はワリンワリンメンバーと共に船で島に渡り海のレジャーを楽しみ、夜にはワリンワリンメンバーのロイナーさん宅でサヨナラパーティーを催していただき大変盛り上がりました。ワリンワリンのメンバー達の「おもてなし」に感謝し、今後も益々親交を深めていきたいと思います。

最後にワリンワリンメンバーより、来る２０１７年には２５周年を迎えるので盛大に祝いたいから、習志野ＲＣメンバーが多数訪問していただけるようお待ちしておりますとの熱いメッセージがありました。当クラブとしても今から予定をたて出来るだけ多くの会員で訪問参加できるよう準備したいと思います。